

スポーツ健康科学総合研究所

Institute of Advanced Research for Sport and Health Science



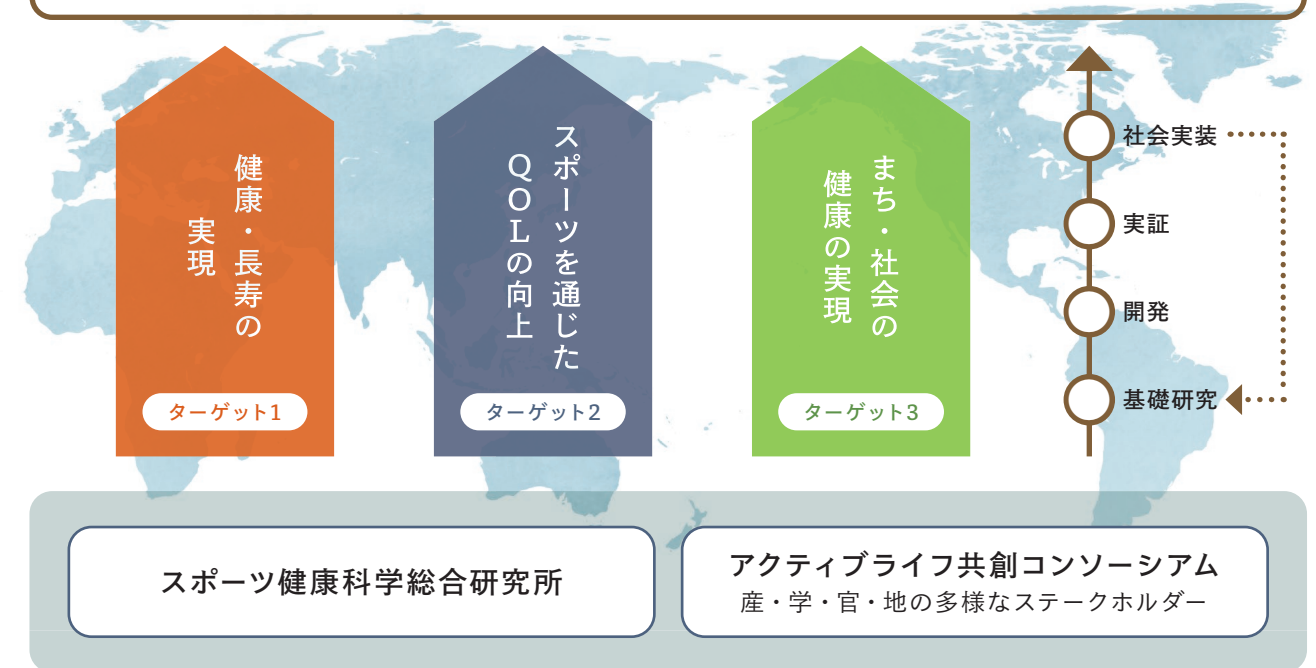
スポーツ・健康・ウェルフェア分野の総合研究拠点として 学際共創型での社会共生価値創出を目指す

スポーツ健康科学総合研究所は、スポーツ・健康・ウェルフェア分野の総合研究拠点として2022年4月に設立されました。本学は、約20年にわたり「スポーツ・健康・ウェルフェア分野」に関する研究活動に取り組んでいます。とりわけ、2010年のスポーツ健康科学部の開設以降、スポーツ健康科学分野で顕著な学術成果をあげるとともに、さまざまな研究活動を実施してきました。このような取り組みが評価され、文部科学省と国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が進める革新的イノベーション創出プログラム（COI）にも選出されました。

これらの培ってきた知見を活かし、本研究所は、あらゆる人の身体的・精神的・社会的健康の実現に主体的に取り組み、多様性と包摂性に優れ、誰もが健康的な生活を送ることのできる社会の実現を目指しています。

具体的な研究ターゲットとして「健康・長寿の実現」「スポーツを通じたQOLの向上」「まち・社会の健康の実現」を設定し、超高齢化社会における生活習慣病予防や健康・食・長寿等の課題に関する研究成果の創出と社会実装を進めます。

あらゆる人の身体的・精神的・社会的健康の実現に主体的に取り組み、
多様性と包摂性に優れ、誰もが健康的な生活を送ることのできる社会を実現



研究・社会実装人材の育成

研究所で受け入れる公的・民間資金を活用し、若手研究者の任用・雇用を計画的に推し進めるほか、大学院生についても研究所メンバーのもとで組織的に指導を行い、具体的な学際共創研究への参画・経験を通じて、確かな研究力に加え、研究成果を社会実装する力量を兼ね備えた人材を育成する。

グローバル展開の推進

すでに研究交流実績を有している英国ラフバラ大学や、英国ノッティンガム大学をはじめ、海外のハイランキング大学との組織的国際共同研究を実施、研究者派遣・受入等の事業を戦略的に展開しつつ、本大学発のスポーツ健康科学研究のグローバル展開を推進する。

アクティブライフ共創コンソーシアムとの連携

スポーツ・健康・ウェルフェア分野に関連する自然科学、人文科学、社会科学の研究者を連携・融合し、産学官地の多様なステークホルダーとの学際共創により、基礎研究から開発・実証、社会実装までのイノベーションサイクルを構築し、一気通貫で推進する。

主な研究テーマ

● 健康・長寿の実現

サルコペニア肥満の遺伝リスクと運動・食事介入効果

統合型ヘルスケアシステムの研究開発

● スポーツを通じたQOLの向上

アスリートのパフォーマンス向上／スポーツ障害の予防

スポーツを「する」「みる」「支える」「知る」からの経験価値の創造

● まち・社会の健康の実現

コミュニティ・ベースとスマートシティの都市モデルの開発

まちづくりからのwell-being向上に関する研究

アクティブライフ共創コンソーシアムの設立（2022年10月設立）

学術・研究機関から創出される研究の成果を具体的な地域やフィールドに実証し、社会実装を行うために、本研究所と東京大学スポーツ先端科学連携研究機構が連携し、学術・研究機関をはじめ産業界から地域自治体・市民にいたる産学官地の多様なステークホルダーによる学際共創型（TDR[※]）コンソーシアムを立ち上げる。

※ TDR：経済協力開発機構の提唱するトランスディシプリナリー研究（Transdisciplinary Research）の略で、学術以外の参加者と共に科学と実践を同時に進行することで、新たな科学的洞察と実践的な社会的利益の両方を創出することを目指す研究様式のこと。

アクティブライフ共創コンソーシアム事業計画

- 学際共創研究プロジェクトの推進
- 若手研究者・大学院生ならびに社会実装人材の育成・輩出
- 研究開発および研究成果の社会実装
- 講演会・セミナー等の開催



研究所長：伊坂 忠夫（スポーツ健康科学部 教授）
主な研究拠点：びわこ・くさつキャンパス
お問い合わせ：立命館大学 研究部 BKCリサーチオフィス TEL: 077-561-2802 FAX: 077-561-2811 ✉: spo-ins@st.ritsume.ac.jp
<https://www.ritsume.ac.jp/research/center/spo-ins/>

